

日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野活動報告

1. 講座の沿革

当講座は平成12年1月から株式会社ツムラの寄附講座として、荒川泰行兼任教授、大久保仁助教授(平成17年1月退職)として、日本大学医学部臨床教育棟5階に開設された。同年4月より、兼任部長・荒川泰行教授、科長・大久保仁助教授、外来医長・矢久保修嗣医師、木下優子医師の体制のもと、科長以下3人の常勤医師により附属板橋病院にて東洋医学科外来診療を開始した。

平成5年より付属練馬光が丘病院東洋医学外来において、練馬区の招請により中国人の中医学医師による診療が行われていたが、平成15年2月より、その診療を当講座が引き継ぐこととなった。同年4月より室賀一宏医師が、7月より上田ゆき子医師が、当講座に非常勤医師として加わり、平成16年4月より、横瀬友好医師が加わった。

平成17年1月に、大久保仁科長が退職し、同年3月より小泉久仁弥医師、4月より種倉直道医師が非常勤医師として外来診療に加わった。7月より板橋病院東洋医学科は科長・矢久保修嗣医師、外来医長・木下優子医師となった。平成18年4月よりは横瀬友好医師が非常勤医師として外来診療を行っている。平成18年5月に精神神経科を退局した安藝竜彦医師が入局した。同年8月より、矢久保修嗣医師、木下優子医師、安藝竜彦医師は助手として日本大学教員となった。

2. 人員の構成

部長(兼任)・教授(兼任) 荒川泰行(平成12年1月~)

科長・助手	矢久保修嗣(平成18年8月~)
外来医長・助手	木下優子(平成18年8月~)
助手	安藝竜彦(平成18年8月~)
非常勤医師	横瀬友好(平成18年4月~)
非常勤医師	上田ゆき子(平成15年7月~)
非常勤医師	室賀一宏(平成15年4月~)
非常勤医師	小泉久仁弥(平成17年3月~)
非常勤医師	種倉直道(平成17年4月~)

3. 診療について

月曜日~金曜日の午前・午後、土曜日午前(7~8月は病院が土曜日休診)、附属板橋病院東洋医学科外来において、2つの診察ブースを使っ

て2人の医師による診療を行っている。漢方薬による治療はエキス剤を中心に行っているが、生薬による漢方治療の患者も増加してきている。

悪性腫瘍患者の疼痛管理を行う緩和ケア・チームに木下優子助手は所属し、病棟における悪性腫瘍患者の疼痛軽減やADL向上などに対して、漢方薬による治療を行っている。

また、平成5年6月に東京都練馬区の要請と後援によって中華人民共和国(中日友好医院)より中医の専門医師を招聘して、日本大学医学部付属練馬光が丘病院内科に「漢方専門外来」を設置し、月・水・金曜日の午後に診療が行われていた。平成15年を2月より、中医人医師が診療を終了することになり、その診療を当講座が引き継ぐこととなった。現在は、付属練馬光が丘病院では水・金曜日の午後の、東洋医学外来診療は主に生薬を用いて行っている。

4. 教育について

(1) 卒前教育

本学4年生に対しては、以前よりブロック講義『肝胆脾胃疾患』において東京女子医大教授・佐藤弘先生に“肝疾患に対する漢方治療”について、講義(2コマ)を行っていただいている。

当講座発足後の平成13年度より、6年生を対象とした『医学医療総論』において、系統的な東洋医学の講義(5コマ)を行っている。平成18年度は、“漢方医学と西洋医学の相違と漢方医学的治療特徴”について矢久保修嗣助手が担当し、“漢方医学的病態認識の基礎理論”については室賀一宏医師が、そして、“漢方医学的診断と病態解析の実際”と“漢方医学的治療の実際”に関しては木下優子助手が講義を行っている。この他、当講座のスタッフではないが、日本東洋医学会会長、昭和大学客員教授・石野尚吾先生に“鍼灸治療総論”と題して、実習も交えて講義を行っていただいている。なお、この授業の後に、医師国家試験形式の試験が行われる。

平成15年度より、本学1年生を対象として『医学序論』において、木下優子助手が漢方医学に関して“東洋医学の現状と将来”(1コマ)を担当するようになった。

平成17年度より、6年生を対象とした『PMP-CC(patient management problem core curriculum)』において“緩和医療”に関する講義の中で、木下優子助手が漢方治療の果たす役

割について、講義（2コマ×90分）を行うようになった。

平成17年度より、連日7週間にわたる6年生の『自由選択学習(エレクトィブ)』の学生の募集を行った。この授業はごく少数の学生を対象として、連日、医局や研究室においてその活動を実践させ、講義だけでは得られないような経験を得ることを目的としている。平成17年度4名、平成18年度6名を受け入れた。和漢診療学に関するテキストを学びながら、外来において脈診、舌診、腹診などの臨床実習を行った。

(2) 学生のサークル活動

東洋医学・漢方医学に対して興味を持っている学生のサークル(TF研)があり、彼らの学習に対する助言、支援、指導を、木下優子助手が中心となって行っている。

(3) 卒後教育

平成17年度には、初めての研修希望医師を受け入れ、3ヶ月間ではあったが外来に於ける漢方診療の臨床を経験した。

現在、研修医師を受け入れる際のマニュアルの作成を行っており、外来診療を見学し、漢方医学的診断学を学び、症例検討や古典などの抄読会や参加を計画している。

女性専門外来のニーズが高まっており、木下優子助手が女性専門外来における漢方診療の意義を講演などで積極的にアピールしている。この効果によって、いくつかの施設から女性専門外来を担当する医師、数名が当講座において研修を希望し、実際に板橋病院に訪れ東洋医学外来の見学を行っている。

日本東洋医学会は厚生労働省より専門医資格認定団体として認可され、平成17年8月9日より、日本東洋医学会認定漢方専門医の標榜が可能となった。専門医受験資格には3年間の研修が義務づけられており、当講座も日本東洋医学会より平成18年3月26日に研修施設認定を取得した。

5. 講演会活動

漢方医学の普及、確立のため、自大学のみならず医師会の研究会、ツムラ主催の漢方入門講座、各種勉強会等においても積極的に講演を行ってきた。木下優子助手は女性専門外来における漢方医学的治療に関して、多くの講演を行っている。また、矢久保修嗣助手は腹診の教育において腹証モデルを使用して講演を行い、典型的な腹証所見を紹介している。

6. 研究活動

我々は、(1)漢方薬の薬効に関する臨床検査機器による評価、(2)漢方医学的所見の基準化・標準化と(3)新しい領域に対する漢方治療という3つの主要な目標をもって研究を行ってきた。今後も、このような方針に基づいて研究を継続していくことを考えている。

(1) 漢方薬の薬効に関する臨床検査機器による評価

漢方薬は多数の生薬により構成されているが、それにはもっと多くの成分が含有されており、生体においてそれぞれの成分が、それぞれの作用器官で、それぞれの時相(時期)で、複雑な機能を発現しているものと考えられる。

葛根湯内服後1.5時間に血中エフェドリン濃度のピークがみられることは、一般に知られている。エフェドリンは交感神経刺激作用をもっている。葛根湯内服後による1心拍毎の血圧、脈拍測定やこの変動により葛根湯の自律神経系に対する作用を検討すると、葛根湯内服30分後に交感神経系の機能亢進がみられることが観察された。これは、葛根湯内服後の血中エフェドリン濃度のピークと相違することを発表した(6th International symposium on natural medicine and microflora, 第57回日本東洋医学会学術総会)。

(2) 漢方医学的所見の基準化・標準化

漢方医学でも患者の身体所見を臨床の現場で得ることは重要である。特に、腹部の所見である腹証を得るために行う腹診は重要である。しかし、この腹証について、日本全国で標準化されたものはない。この腹証の基準化・標準化のための検討を行ってきた。

我々は典型的な腹診の教育を行うために腹証教育モデルの作成を行い、漢方医学の講演会など腹証学習の現場において、この腹証モデルを実際に使用して講演を行っている。これは参加者の好評を得ており、これに関する参加者の感想や評価などをまとめている。

今後、この評価をまとめることや、腹証モデルの改良を計画している。下腹部の圧痛点においては医師による適切な部位の圧迫に際して圧痛が出現する。この患者の痛み症状を表現するために、特殊なスイッチを考案した(第38回日本医学教育学会総会)腹証教育モデルとあわせて、特許出願を行った。

今後は、腹部および腹部のいろいろな所見部位にあわせて硬度を変化することが可能な材料

を設置し、遠隔操作によりその硬度を変化させるような可変型腹部シミュレーターの作成や、腹部動悸のような動きのあるものを表現できるような装置の組み込み、サーモトレーサーにより得られた腹部体表温の再現などを行っていきたい。

また、脈診に関しても同様なシミュレーターの作成を計画中である。

(3)新しい領域に対する漢方治療

a. *Coxiella burnetii* 感染症

Q熱の原因菌として知られる *Coxiella burnetii* による感染症に対する治療を担当しており、*C. burnetii* 感染については血清 IgG 抗体、IgM 抗体、PCR 法などの検査を行っている。*C. burnetii* 感染症には、急性 Q 熱と慢性 Q 熱の病型が存在する。最近では、微熱、全身倦怠感などの慢性疲労症候群(CFS)類似の症状や、筋線維の間欠性攣縮なども伴うことのある Post-Q fever fatigue syndrome(QFS)が提唱されている。我々は、QFS および、QFS と類似している CFS、その他、発熱、全身倦怠感などの症状を呈する患者に対する漢方治療を行っている。

QFS は漢方医学的には、耐え難い疲労感、集中力と精神力の欠如などの症状からは気虚、持続的な頭痛からは気滞、理性を失った怒りは気逆、睡眠障害からは血虚と考えられ、補中益気湯、加味逍遙散による治療の適応と思われる。

平成 18 年 9 月 1 日からは、厚生労働省より認可された高度先進医療として、*Coxiella burnetii* 感染症の検査に関して患者負担となった。

今後、QFS に対する漢方治療を確立するために、症例をまとめていくことを計画している。また、このような感染症に対する免疫システムと漢方薬の役割について研究を進めることを考えている。

b. 緩和医療における漢方医学的治療

緩和医療における漢方医学的治療や、悪性腫瘍患者に対する東洋医学的治療を行い、この領域において漢方治療の効果が示された症例についての症例報告を行ってきた。そして、これらの積み重ねにより、我が板橋病院の疼痛緩和マニュアルには、漢方治療が収載されるようになった。今後、これらの検討を発展させ、緩和医療における漢方医学的治療効果の検討や、悪性腫瘍患者に対する東洋医学的治療の臨床効果を検討していく計画である。

7. 原著論文、総説、症例報告など

- 1) 木下優子:鼎談 更年期と漢方 - 最近の動向 - , 漢方と最新治療, Vol.12, No.1, 5-14, 2003.2.15, 世論時報社
 - 2) 木下優子:日本大学医学部付属病院 東洋医学科での診療の実際, カレントセラピー 2月号, Vol. 24, No. 2, 97-99, 2006.1.25, ライフメディコム
 - 3) 矢久保修嗣, 木下優子, 横瀬友好:咬傷数年後に Q 熱と診断し得た 1 例, 板橋区医師会医学雑誌, 2005, vol.10, 150-151, 2006.3.24, 板橋区医師会
 - 4) 矢久保修嗣, 木下優子, 荒川泰行:漢方医学的腹証教育モデルの作成, 日大医学雑誌, Vol. 65, No. 2, 111-115, 2006.4.1
 - 5) 木下優子:がん性疼痛の薬物療法 11.その他の薬物療法 a.漢方薬, ペインクリニック, Vol.27, 別冊春号, 154-158, 真興貿易(株)医書出版部, 2006.4.15
 - 6) 木下優子, 矢久保修嗣:漢方入門講座「病名投与から漢方的な治療へつなげるステップアップ」, 産婦人科 漢方研究のあゆみ 23, 1-4, 2006.4.15, 産婦人科漢方研究会
 - 7) 木下優子:性差医療における漢方, 産婦人科治療, Vol. 92, 増刊, 37-41, 2006.4.20
 - 8) 木下優子:薬学生のための漢方講座 漢方悟空薬局 第 1 回「風邪に葛根湯?」, 化学と薬学の教室 No. 154, 19?21, 2006.5.30, 廣川書店
 - 9) 矢久保修嗣, 木下優子:傷寒・金匱薬物事典, 2006.6.1, 万来舎
 - 10) 矢久保修嗣, 木下優子, 荒川泰行:葛根湯の自律神経作用に対する心拍変動による検討, 自律神経, Vol. 43, No. 4, 357-362, 2006.8.15, 日本自律神経学会
 - 11) 矢久保修嗣:肥満症の漢方治療, P&M Kampo, 2-10, Vol.11, No.4, 2006
 - 12) 木下優子:薬学生のための漢方講座 漢方悟空薬局 第 2 回「花粉症に漢方治療」, 化学と薬学の教室 No. 155, 69-71, 2006.11.30, 廣川書店
- ### 8. 取材など
- 1) 矢久保修嗣:友人から期待を込めて..., メディカル朝日 別冊 1 月号, 3, 2006.1.1, 朝日新聞社
 - 2) 木下優子:冬の養生と食べもの, 食べもの文化 1 月号, 7-11, 2006.1.1, 芽ばえ社
 - 3) 木下優子:野菜リセットダイエット, 厳選! ダイエット成功ブック, 24-27, 2006.2.6,

永岡書店

- 4) 木下優子：インタビュー「冷え症の病態と漢方治療」, TSUMURA KAMPO SQUARE 19 号, 2006.2.10
 - 5) 木下優子：突然ベジタリアン, 新潟日報, 15, 2006.2.22
 - 6) 木下優子：ビバ、ベジタリアン, 新潟日報, 13, 2006.2.23
 - 7) 木下優子：好意を食す, 新潟日報, 20, 2006.2.24
 - 8) 木下優子：思い出のレストラン, 新潟日報, 13, 2006.2.27
 - 9) 木下優子：最高のスパイス, 新潟日報, 17, 2006.2.28
 - 10) 木下優子：アレルギーに関する Q&A, 日経キッズプラス 3 月号, 74, 2006.3.1, 日経ホーム出版社
 - 11) 木下優子：とっさの一口, 新潟日報, 13, 2006.3.1
 - 12) 木下優子：好きなものを好きな人と, 新潟日報, 18, 2006.3.2
 - 13) 木下優子：食卓は赤, 新潟日報, 17, 2006.3.3
 - 14) 木下優子：香りの記憶 景色の記憶, 新潟日報, 15, 2006.3.7
 - 15) 木下優子：附子とシジミ汁, 新潟日報, 15, 2006.3.8
 - 16) 木下優子：心と体にやさしい漢方, 2006.3.31, 中央公論新社
 - 17) 木下優子：女の転機の見つけ方、生かし方, 日経ウーマン 4 月号, 24-25, 2006.4.1, 日経ホーム出版社
 - 18) 木下優子：～漢方の役割～ 性差医療に適する, Medical Tribune, Vol.39, No.16, 18, 2006.4.20, メディカルトリビューン
 - 19) 矢久保修嗣：私の漢方診療日誌(4) 似たもの同士? 親子、夫婦の風邪、花粉症に効いた麻黄附子細辛湯, TSUMURA KAMPO SQUARE 27 号, 2006.7.10
 - 20) 矢久保修嗣：私の漢方診療日誌(5) 風邪に対する勝利の方程式 お母さんには効き過ぎ?, TSUMURA KAMPO SQUARE 28 号, 2006.7.25
 - 21) 矢久保修嗣：私の漢方診療日誌(3) 適応症以外に花粉症症状も軽減した当帰芍薬散の波及効果, TSUMURA KAMPO SQUARE 26 号, 2006.6.26
 - 22) 木下優子：学生のためのヘルスケア 漢方の知恵で健康に美しく, 桜緑 junior No. 4, 15, 2006.8
 - 23) 矢久保修嗣：漢方を身近に取り入れる先人の知恵 それが薬酒「薬酒はやっぱり冷えに効く」, 日経ヘルス 7 月号, 114-118, 2006.7.1, 日本経済新聞社
 - 24) 矢久保修嗣：日本医学教育学会レポート 漢方医学的腹証教育モデル改良の試み, 日経メディカル 10 月号 別冊付録, 24, 2006.10.10, 日経メディカル開発
 - 25) 木下優子：もっと知りたい! 今日から始める! 漢方とツボの本, 2006.12.1, 主婦と生活社
 - 26) 木下優子：漢方医学で自己チェック 舌、顔、爪、髪でわかる体の不調, 栄養と料理 12 月号, 86-90, 2006.12.1, 女子栄養大学出版部
 - 27) 木下優子：更年期障害の多彩な症状を断つ - 漢方医学の観点から -, 武田薬報 446 号, 8-13, 2006.武田薬品工業
 - 28) 木下優子：女の更年期、男の更年期, 日本漢方生薬製剤協会
 - 29) 木下優子：この冬の底冷えにも負けない! 「養生気功」で体も心も自家発熱, 美的 1 月号, 153-160, 2007.1.1, 小学館
 - 30) 木下優子：Health Care for NEXT SEASON 冬の睡眠不足と暖房のしすぎが春先の不調を招くもと!, 冬のけんこう, 7, 2006.11.26, 社会保険出版社
9. 学会発表など
- 1) 木下優子：シンポジウム「性差医療と漢方」, 第 79 回 日本薬理学会 年会, 2006.3.8-10, パシフィコ横浜
 - 2) 矢久保修嗣, 木下優子, 安藝竜彦, 荒川泰行：葛根湯の自律神経に対する作用, 第 25 回 日本大学東洋医学研究会 学術集会, 2006.5.11, 日本大学 医学部 第 1 臨床講堂 (東京)
 - 3) 種倉直道：月経前症候群に対する漢方療法, 第 57 回 日本東洋医学会 学術総会, 2006.6.23, 大阪国際会議場
 - 4) 矢久保修嗣, 木下優子, 横瀬友好, 室賀一宏, 荒川泰行：心拍変動からみた葛根湯の自律神経系に対する作用, 第 57 回 日本東洋医学会 学術集会, 2006.6.23, 大阪国際会議場
 - 5) 矢久保修嗣：往診用車両内等における在宅患者から送られるイベント心電図判読システムの構築, 第 23 回 日本心電学会 学術集会, 2006.7.7-9, 東京国際フォーラム
 - 6) 矢久保修嗣, 木下優子, 荒川泰行：漢方医学的腹証教育モデル改良の試み, 第 38 回 日本医学教育学会 総会および大会,

2006.7.29?30, 奈良県新公会堂

- 7) 矢久保修嗣, 木下優子, 安藝竜彦, 荒川泰行: The Investigation for the Effects of Kakkonto (Ge-Gen-Tang: 葛根湯) for Autonomic Nerve Systems by Heart Rate Variability, The 6th International Symposium on Natural Medicine and Microflora, 2006.8.6-8, Kwangneng Campus of Kyung Hee University (Seoul, KOREA)
 - 8) 矢久保修嗣, 木下優子, 荒川泰行: A project of Making the Simulators for The Education of Abdominal Palpation on the Kampo Medicine and An Experience of Using the Simulators During the Lecture, The 6th International Symposium on Natural Medicine and Microflora, 2006.8.6-8, Kwangneng Campus of Kyung Hee University (Seoul, KOREA)
 - 9) 木下優子: シンポジウム「緩和ケアと漢方」, 第 32 回 日本東洋医学会 九州支部会 学術総会, 2006.11.19, 大分県医師会館 (大分)
 - 10) 木下優子, 矢久保修嗣: 和漢医薬学生・若い研究者の集い 臨床の現場から基礎研究へ「特許をとろう!」, 第 23 回 和漢医薬学会大会, 2006.8.26-27, 長良川国際会議場 (岐阜)
 - 11) 木下優子, 牧村瑞恵, 矢久保修嗣: 薬物の新規モニタリング法の構築とその応用, 平成 17 年度 日本大学 薬学部 学術フロンティア推進事業研究成果報告会, 2006.2.20?21, 日本大学 薬学部 分子薬学研究センター 728 会議室 (船橋)
 - 12) 笠巻祐二, 矢久保修嗣, 木下優子: 柴胡加竜骨牡蛎湯の冠血流予備能に対する効果? 経胸壁ドプラ心エコー図による検討?, 第 18 回 日本超音波医学会 学術集会, 2006.10.28-29, シェーンバッハ・サポー (東京)
10. 講演など
- 1) 木下優子: 女性にやさしい漢方入門, 2006.1.14, ルミネ横浜 8F
 - 2) 木下優子: 薬剤師のための漢方調剤研究会教育講演「漢方概論～漢方医学的診断と治療～」, 2006.1.28, ホテルスプリングス幕張本館 3F クリスタル (千葉)
 - 3) 木下優子: こまち漢方ステップアップセミナー, 2006.1.29, 秋田県総合保健センター第一研修室
 - 4) 木下優子: 漢方医学入門セミナー 2nd ステージ, 2006.2.5, ホテルグリーンタワー幕張 3F エルガー (千葉)
 - 5) 木下優子: ランチョンセミナー「女性外来における実践漢方入門講座」, 第 3 回 性差医療・医学研究会 学術集会, 2006.2.18-19, コクヨホール (東京)
 - 6) 木下優子: ツムラ もてぎ漢方入門セミナー, 2006.2.25-26, ホテルツインリンク (茂木)
 - 7) 木下優子: 漢方医学について, 2006.3.3, 栃木県立がんセンター 講堂 (宇都宮)
 - 8) 矢久保修嗣, 木下優子: エンジョイ漢方 in 鹿児島 ～女性医師のための漢方セミナー～, 2006.3.5, ホテル・レンクストン鹿児島
 - 9) 木下優子, 矢久保修嗣: 昭和大学 漢方ステップアップセミナー, 2006.3.11, 昭和大学 1 号館 5F カンファレンスルーム (東京)
 - 10) 木下優子: 漢方医学入門セミナー in 市川, 2006.3.12, 市川グランドホテル 6F 藤の間
 - 11) 木下優子: 漢方薬について, 2006.3.15, 栃木県立がんセンター 講堂 (宇都宮)
 - 12) 木下優子: ツムラ 女性外来担当医師のための漢方入門 in Tokyo, 2006.3.18-19, 八重洲富士屋ホテル 2F 櫻西の間
 - 13) 木下優子: 入門セミナー, 2006.3.21, 金沢スカイホテル 10F 白山の間
 - 14) 木下優子: 第 43 回 漢方心身医学研究会「疼痛と漢方」, 2006.3.22, 永和ビル B3 メディアボックス 会議室 C
 - 15) 木下優子: 特別講演「婦人科領域の漢方レッスン」, 第 13 回 播磨産婦人科漢方研究会, 2006.4.1, ホテル日航姫路 3F 藤の間
 - 16) 木下優子: 特別講演「女性によく見られる症状に対する漢方治療その 1 - 頭痛・めまい・のぼせ・肩こり・うつ - 」, 第 75 回 山梨漢方医学研究会, 2006.4.19, アピオ甲府 タワー館
 - 17) 矢久保修嗣, 木下優子: 女性医師のための漢方セミナー, 2006.4.23, 沖縄ハーバービューホテル 2F 羽衣の間
 - 18) 木下優子: メディセオ・ラーニング「薬剤師のための日常業務に役立つ『e 漢方入門講座』」, 2006.4.25, ホテルメトロポリタンアンバサダースイート (東京)
 - 19) 矢久保修嗣: ATAGO KAMPO NIGHT 漢方医学講師養成講座 第 1 回「漢方治療の際に注意すること」, 2006.4.27, 東京慈恵会医科大学 高木会館 5F E 会議室
 - 20) 矢久保修嗣: 第 102 回 県北漢方医学研究会 特別講演「病名投与から随証治療への Skill Up」, 2006.5.10, 福島市保健福祉センター 3F 中会議室

- 21)木下優子:明解!漢方講座 第1回,2006.5.13,ホテルロイヤル盛岡
- 22)矢久保修嗣:ATAGO KAMPO NIGHT 漢方医学講師養成講座 第2回「気血水の考え方」,2006.5.18,東京慈恵会医科大学 高木会館 5F E 会議室
- 23)木下優子:医歯学総合講義,2006.5.22-007.3.31,鹿児島大学 歯学部
- 24)矢久保修嗣,木下優子:新潟漢方医学入門セミナー,2006.5.28,ホテル新潟 3F 阿賀
- 25)木下優子:池袋漢方講座 第1回「ストレス性疾患と漢方」,2006.5.30,東京芸術劇場 会議室 5F
- 26)木下優子:長岡漢方学習会 消化器疾患の漢方治療・気血水の概念をふまえて,2006.6.7,ホテルニューオータニ長岡 3F うめの間
- 27)矢久保修嗣,木下優子:エポカル漢方セミナー,2006.6.10-11,オークラフロンティア ホテルつくばエポカル
- 28)矢久保修嗣:ATAGO KAMPO NIGHT 漢方医学講師養成講座 第3回「漢方の診察」,2006.6.15,東京慈恵会医科大学 高木会館 5F E 会議室
- 29)矢久保修嗣:はやて漢方ステップアップセミナー in 八戸,2006.6.18,八戸パークホテル 2F アジュール
- 30)木下優子:池袋漢方講座 第2回「高齢者疾患と漢方」,2006.6.20,東京芸術劇場 会議室 5F
- 31)木下優子:明解!漢方講座 第2回,2006.7.1,ホテルロイヤル盛岡
- 32)木下優子:池袋漢方講座 第3回「消化器疾患と漢方」,2006.7.25,東京芸術劇場 会議室 5F
- 33)木下優子:女性外来担当医師の為の「漢方ステップアップセミナー Part2」,2006.8.19-20,ホテルグリーンタワー幕張(千葉)
- 34)矢久保修嗣:北区医師会学術講演会 わかりやすい漢方~入門から実践まで~ 第1回 漢方医学概論,2006.7.26,北区医師会館 4F 講堂(東京)
- 35)矢久保修嗣:北区医師会学術講演会 わかりやすい漢方~入門から実践まで~ 第2回 実際の漢方薬の使い方,2006.8.9,北区医師会館 4F 講堂(東京)
- 36)木下優子:女性外来担当医師の為の「漢方ステップアップセミナー Part2」,2006.8.19,ホテルグリーンタワー幕張(千葉)
- 37)木下優子:長岡漢方学習会「明日の診療に役立つ漢方~女性疾患・冷え・腹痛など」,2006.8.23,ホテルニューオータニ長岡 3F うめの間
- 38)木下優子:第2回 北毛漢方臨床懇話会 講義「更年期症候群と不定愁訴」,2006.8.30,ホテルベラヴィータ 3F オリーバ(沼田)
- 39)矢久保修嗣,木下優子:病院勤務医のためのわかりやすい漢方入門セミナー,2006.9.2-3,邦和セミナープラザ(名古屋)
- 40)矢久保修嗣:ATAGO KAMPO NIGHT 漢方講師養成講座 第4回「気・血・水による漢方の使い方・復習編」「症例検討会」,2006.9.7,東京慈恵会医科大学 高木会館 5F D 会議室(東京)
- 41)木下優子:JOYFUL KAMPO SEMINAR in minato「消化器疾患の漢方治療」,2006.9.8,赤坂エクセルホテル東急 13F 光の間(東京)
- 42)矢久保修嗣:青い森漢方ステップアップセミナー,2006.9.10,ホテル青森 3F はまなすの間
- 43)木下優子:漢方入門講座「産婦人科領域における実践漢方入門講座」,第26回 産婦人科漢方研究会 学術集会,2006.9.10,リーガロイヤルホテル京都
- 44)木下優子:即決漢方セミナー 第2回「不定愁訴の漢方治療~上半身~」,2006.9.12,東武ホテルレバント東京 3F 芙蓉
- 45)矢久保修嗣:漢方医学教育のためのワークショップ「学内の壁」,2006.9.16,東京八重洲ホール 201号室
- 46)安芸竜彦,木下優子:第44回 漢方心身医学研究会,2006.9.20,永和ビル B3F メディアボックス 会議室 C(東京)
- 47)木下優子:第19回 内灘漢方研究会 特別講演「生活習慣病と漢方」,2006.9.22,金沢医科大学病院 4F C41 講義室
- 48)木下優子:漢方女性医師研究会「生活習慣病と漢方」,2006.9.23,金沢スカイホテル 10F 白山の間
- 49)木下優子:宇都宮 漢方ステップアップセミナー,2006.9.24,ホテルニューイタヤ 南館 3F 蓬莱の間
- 50)木下優子:基礎から学べる漢方講座「明日から使える漢方治療」,2006.9.26,ティーズサロン 3F 会議室 A(東京)
- 51)木下優子:大学勤務医のための漢方入門セミナー in 仙台,2006.10.1,仙台国際ホテル 6F 楓
- 52)木下優子:やさしく学べる漢方セミナー2006「婦人科と漢方」,2006.10.7,新石原ビル

5F ホール (大阪)

- 53) 矢久保修嗣：ATAGO KAMPO NIGHT 漢方講師養成講座 第5回「六病位の考え方」「かぜの漢方治療」, 2006.10.12, 東京慈恵会医科大学 高木会館 5F E 会議室 (東京)
- 54) 木下優子：第174回東毛漢方研究会 呑龍 KAMPO 講座「頻用処方と使い方のコツ」, 2003.10.25, 太田市総合健康センター 3F
- 55) 木下優子：脳神経外科医のための漢方入門セミナー「次の一手の漢方治療～検査しても何もなかったら…手術が終わったら…漢方治療はいかがですか～」, 第15回日本脳神経外科漢方医学会 学術集会, 2006.11.4, 都市センターホテル (東京)
- 56) 木下優子：池袋漢方講座 第1回「呼吸器疾患と漢方治療～かぜ治療を中心として～」, 2006.11.7, 東京芸術劇場 5F 会議室
- 57) 矢久保修嗣：ATAGO KAMPO NIGHT 漢方講師養成講座 第6回「五臓の考え方」「まとめ」, 2006.11.9, 東京慈恵会医科大学 高木会館 5F E 会議室 (東京)
- 58) 木下優子：函館漢方入門セミナー, 2006.11.12, 函館国際ホテル
- 59) 矢久保修嗣：青い森漢方入門セミナー, 2006.11.12, ホテル青森 4F 錦鶏の間
- 60) 木下優子：即決漢方セミナー 第3回「不定愁訴の漢方治療～下半身～」, 2006.11.14, 東武ホテルレバント東京 3F 芙蓉
- 61) 矢久保修嗣：船橋漢方セミナー 第1回「漢方概論(陰陽虚実のポイント) 呼吸器疾患における漢方薬の使い方」, 2006.11.18, フローラ西船橋
- 62) 木下優子：顔から見る体の不調, 第2回日本顔学会 鹿児島支部会, 第7回鹿児島顔談話会 講演会, 2006.11.18, 鹿児島大学歯学部 第3講義室 (鹿児島)
- 63) 矢久保修嗣：県央地区漢方勉強会 消化器疾患に有用な漢方薬, 2006.11.21, 燕三条ワシントンホテル 3F 錦の間 (燕)
- 64) 木下優子：第12回性差医療情報ネットワーク 東京支部 学術講演会「女性患者さんにおける漢方の使い方(骨盤・下肢の病気と関節痛について)」, 2006.11.25, ツムラ本社 1F ホール (東京)
- 65) 矢久保修嗣：池袋漢方講座 第2回「消化器領域の漢方治療」, 2006.11.28, 東京芸術劇場 5F 会議室
- 66) 木下優子：第1回木下塾「呼吸器疾患と漢方～症例検討を含む～」, 2006.11.28, ホテルフェアシティ 9F 弥生の間 (宇都宮)

- 67) 木下優子：研修指導医のための漢方医学セミナー, 2006.12.2-3, アークホテル広島
- 68) 木下優子：ツムラ 女性外来担当医師のための漢方入門セミナー in Tokyo & Kobe, 2006.12.9-10, アルカディア市ヶ谷(私学会館) (東京)
- 69) 木下優子：第2回 福島県性差医療セミナー 一般公開セミナー「女性のための漢方入門」, 2006.12.23 福島県立医科大学内光が丘会館 第会議室
- 70) 木下優子：第2回 福島県性差医療セミナー 実践漢方入門(医療関係者講座)「女性外来における実践漢方入門」, 2006.12.23, 福島県立医科大学 光が丘会館 大会議室
- 71) 木下優子：ツムラ 女性外来担当医師のための漢方入門セミナー in Tokyo & Kobe, 2007.1.13-14, 神戸タワーサイドホテル

11. 特許など

- 1) 荒川泰行, 矢久保修嗣, 木下優子：医学教育用腹部診察シミュレーター (特願 2006-114556), 2006.2.13 受付, 2006.4.18 提出, 案件番号 10976